

第2章

本年度の取り組み

第1節 中学1年生

行き方を探る I

～「好き・楽しい・興味がわく」から広がる未来～

薫 森 英 夫 ・ 佐 光 美 穂
竹 内 史 央 ・ 辻 恵 介
加 藤 容 子 ・ 高 松 逸 朗

【抄録】 中学1年生の総合人間科は、「行き方を探る」を大テーマとする個人研究であり、11月のフィールドワークとリンクさせることはもちろん、今後6年間で行う総合人間科の基礎を作る大切な授業である。今年度は自分が興味・関心のある職業の人にフィールドワークを行い、未来を模索する上で参考にするように指導した。また、職業を深く理解する姿勢を身につけさせる事を主眼に置き、生徒が興味関心のあることについて道筋を立てて探究する力をつけさせるように指導した。

【キーワード】 生き方 個人研究 フィールドワーク 職業選択 探求する力

1. テーマとサブテーマ

- (1)テーマ 生き方を探る I
(2)サブテーマ 「好き・楽しい・興味がわく」から広がる未来

2. 学年目標、ねらい、伸ばしたい力など

- (1)学年目標
- ・身近な人から初対面の人まで様々な人との対話から、多様な考えがあることを認識させる
 - ・自分が興味・関心のある職業の人にフィールドワークを行い、未来を模索する上で参考にし、職業を深く理解する姿勢を身につけさせる

(2)ねらい

6年間に及ぶ総合人間科の学習に必要とされる基本的な能力を身につけさせる（メモの取り方、調べ方、アポイントの取り方、質問の仕方、手紙の書き方、まとめ方など）

(3)伸ばしたい力

生徒が興味関心のあることについて道筋を立てて探究する力をつけさせる

3. 活動内容

- (前期) インタビューの練習、メモの取り方、手紙やレポートの書き方、発表の仕方
(後期) フィールドワーク、FW発表会、研究集録の作成

4. 評価基準と方法

- ・教員による個人の取り組みの評価
- ・生徒による自己評価、相互評価
- ・研究集録

5. 系統性

初年度のため前年度とのつながりはない

6. 「持続可能な開発のための教育 (ESD)」との関わり

自分で未来を模索するために必要な具体的な手段（たとえば身近な人から初対面の人への出会いを広げていく）を知り、これを1年かけてじっくりと学べばよいと考える。同時に、総合人間科を6年間学ぶための基本的なスキルの習得も目指す。学校で学ぶ教養や他人との関わりあいから、自己決定する経験を積み、自分の生き方について能動的に考える力が身につくとよい。

7. 2011年度 中学1年生 総合人間科の学習日程

回	月日	学習内容
第1回	4/14	ガイダンス、仲間へのインタビュー
第2回	4/15	仲間へのインタビューまとめ
第3回	4/28	移動体験準備
第4回	5/12	公共交通機関を使って移動体験

第5回	5/26	教育実習生へのインタビュー
第6回	6/9	未来の仕事さがし 職業から生き方を探る (図書館で調べ学習)
第7回	6/16	興味ある職業について考える (図書館で調べ学習)
第8回	7/7	興味ある職業について考える (レポートの発表)
第9回	夏休み中	夏休みの課題について 人物紹介スクラップブックの発表準備
第10回	9/8	夏休みの課題の発表 研究テーマの決定 訪問先候補を選ぶ
第11回	9/29	フィールドワークの準備 電話 でインタビューの依頼
第12回	10/20	フィールドワークの事前指導・ 質問項目作り
第13回	11/10	フィールドワーク当日
第14回	11/17	フィールドワークのまとめ お礼状作り
第15回	12/8	研究集録の原稿づくり
第16回	1/12	研究発表の準備
第17回	1/26	研究発表1
第18回	2/16	研究発表2
第19回	3/8	中1 総合人間科一年間のまとめ

8. 研究テーマ

(1)研究テーマ一覧

小学校の先生の苦勞とやりがいとは何か？
学芸員になる上で大切なことは？
警察官としての心構えとは！？
CMを制作する楽しさや苦勞とは？
大学教授
美容師の「満足してもらえる秘訣」とは？
イルカショーのトレーナー
獣医になるために必要なことは？
ロボット研究者に大切なことは
Elementary school teacher～小学校の先生が常に 心がけていることは何か？～
公務員になって苦勞することとは？
宇宙研究への心構え
動物に関わる仕事 動物看護師 (AHT)
弁護士の本音！？
サッカークラブ広報はクラブにとってどんな存在か？
小学校の教師～なるために大切なこと、なってから大切 なことは？～
科学者になるためにやっておくべきことは？
電車の運転手になるのに必要なことは？

薬剤師のやりがいとは何か？
教師の仕事のやりがいや苦勞することは？
水族館の飼育係には動物の気持ちが分かるのか？
手話通訳者～手話通訳者のやりがいとは何なのか？～
弁護士のやりがいとは？
気象観測の方法とは？
心理カウンセラー～人の心に訴える仕事のやりがいとは なにか？～
心療内科医にとって大切なことは何か？
自動車整備士のやりがいとは？
教師を育てる人とは
臨床検査技師～人の役に立つ仕事をしている人の気持ち とは？～
薬剤師～薬剤師のやりがいと今後の目標は？～
人の役に立って生きるには 矯正歯科医
通訳にとって大事なことは何か？
一流の整体師に…なるためには？
ホテルマンに大切なことは何か
雑誌編集者としてのやりがいは？
科学者の生き方とはどういうものか
生物学者にとって大切なことは？
動物飼育係～動物に関わる仕事と生き方とは？～
歯科医師～歯科医師のやりがいといつも注意している ことは？～
医師～医者になった理由、なってから大変だったこと や、やりがいとは？～
Doctor～医師になるためにはどんな努力が必要か？～
女優とは？
ロボット発明者
書道教師
ゲームクリエイター ゲームで人を喜ばせるには
オーケストラ団員
政治家という生き方
doctor
研究者の姿勢を学ぶ ～益川敏英先生に何う～
magazine editor 雑誌の編集者
警察官
薬剤師のやりがいは？
Kindergarten teacher
GAME CREATOR
経営コンサルタントについて
スイミングインストラクター
新聞記者とは何か
動物を飼育する仕事 ～動物園・水族館飼育係～
小学校教師
小学校教師とはどのような存在であるべきか？
リベアマン
情報化社会で生きるには
保育士について

学校栄養士
ものづくり研究の楽しさ
薬剤師
ショウスケーターになるために必要なことは
獣医師について
皇宮護衛官
科学者 Scientist
獣医師
小学校教師
医者とは何か
医師の仕事
小説家について
音楽家の作り方
What is 学芸員?
パティシエについて
都市の創造者「建築士」
Pharmacist

名古屋医療センター
RS薬局
ふじき矯正歯科
株式会社インターグループ
ナショナル整体学院名古屋校
ヒルトン名古屋
株式会社角川マガジズ東海オフィス
名古屋市科学館
京都大学霊長類研究所
名古屋港水族館
なかの歯科
ごとうこどもクリニック
中京病院
劇団ひまわり名古屋アクターズスクール
名古屋大学大学院工学部工学研究科マイクロ・ナノシステム工学専攻 マイクロ・メカトロニクス研究センター
学習プラザwings
HAL名古屋
セントラル愛知交響楽団
県議会議員
松川クリニック
名古屋大学 益川教授
株式会社 流行発信
刑務官
ぽぷり薬局
チャイルドアカデミー上社保育園
HAL 名古屋
デトロイト トーマツ コンサルティング株式会社
東邦スイミングクラブ
中日新聞編集局社会部
名古屋港水族館
港区大手小学校
表山小学校
バルドン楽器本店
HAL 名古屋
小鳩幼児園
名古屋市立田代小学校
兵庫児童館
Vdrug 覚王山法王町店
ショースケート
茶屋ヶ坂動物病院
中部管区警察局
名古屋大学 益川教授
神領ビーイング動物病院
上社小学校
名古屋アイクリニック
中京病院
名古屋コミュニケーションアート専門学校

(2)フィールドワーク先一覧

名古屋市立牧野小学校
名古屋市科学館
千種警察署
株式会社東海アドエージェンシー
名古屋大学 益川教授
美容室Dreams
南知多ビーチランド
とよおか動物病院
名古屋大学大学院工学部工学研究科マイクロ・ナノシステム工学専攻 マイクロ・メカトロニクス研究センター
名古屋市立牧野小学校
港区役所
名古屋大学大学院理学研究科
大鳥ベッタクリニック
名古屋法律事務所
名古屋グランパスエイト広報部
瀬戸市立效範小学校
名古屋市科学館
名古屋鉄道名古屋乗務区事務所
調剤薬局しらき
豊田市立拳母小学校
名古屋港水族館
社団法人愛知県聴覚障害者協会
黒岩千晶法律事務所
名古屋地方気象台
青山こころセラピー事務所
星ヶ丘マタニティクリニック
日産愛知自動車大学校
愛知教育大学附属学校部長 宮川秀俊教授

ピアニスト
名古屋市科学館
フランス菓子屋エミリー
work cube
中部労災病院

9. 成果と課題

(1)成果

ほとんどの生徒がこのような大規模の個人研究をしたことがない中、生徒は非常にしっかりと研究することが出来たようである。

最初に彼らが直面した困難は研究テーマの決定であった。やはり経験が浅いためか、生徒が当初提出したテーマは漠然とした物が多く、それを絞ることによってより自分が研究しやすくなるということを今回学ぶことが出来たようである。

次に生徒が直面した困難はフィールドワーク先の決定であった。一生懸命調べ学習を行い、「ここに訪問したい!」という強い意志と希望を持って電話でアポイントを取る姿が数多く見られた9月と10月。「先生、取れた!」と嬉しそうに報告する生徒と「先生、断られちゃった。」と落胆しながら報告に来る生徒の数は大して差がなかった。それでも最後は全員が希望するフィールドワーク先からアポイントを取ることが出来、11月にフィールドワークに臨むことができた。社会人との交渉という、今までに経験したことがない事を最後まであきらめず、粘り強くやり遂げたことにより、生徒はまた一つ殻を破ることが出来たように感じた。

最後に彼らが直面したのは研究集録原稿を明確に締め切りを提示され、一つの形にまとめ上げることには慣れているはずの彼らも、本校のスタイル、中学生レベルの研究のまとめというのは初めてのことであり、なかなか難しかったようだ。しかし、この一年間の活動を通して彼らが学んだことはとても多く、あと5回有る総合人間科の学習の基礎となったことは間違いないであろう。

(2)課題

今回の総合人間科の学習を通して明らかになった課題が二つある。一つは生徒の総合人間科の学習への取り組みであり、もう一つはフィールドワークのためのアポイント取りについてである。

今年度もそうであるし、過去の年度でもそうであったが、教師は総合人間科が生徒にとって通常授業の負担にならないようにと配慮しながら総合人間科の課題を提示したり、研究を提示したりしてきた。しかし生徒の関心はやはりどうしても普段の学習や部活動などに注がれることが多く、総合人間科の授業の前日になって、やっつけ仕事の的に課題や研究をこなそうとする生徒が多く見られ

た。これは教師の生徒に対する配慮が全く裏目となってしまっていると感じられたことだった。

もう一つはフィールドワークのアポイント取りである。中学生の場合、マニュアルは一応国語などで学習しているようだが、その様子を見てるとおよそ裏められるような言葉遣いや話し方ではないことが多かった。アポイント取りの事前指導ほどの学年も徹底的に指導する必要があるのではと強く感じた。

また、毎年のものであるが、フィールドワークのアポイントを取るために職員室や研究室の電話を使用するための長蛇の列が出来る。これは教師の通常業務に支障をきたす。携帯電話がこれだけ普及している以上、個人情報保護の観点をしっかりと守りつつ、各個人の携帯電話でアポイント取りをすることを考慮してもいいのではないかと強く思う。